

第3学年学習スケジュール（文理コース）

科目名	5月6日までの取組と課題	5月7日以降夏休みまでのスケジュール	夏休み以降共通テストまでのスケジュール	休校中の勉強法	備考
国語	<p>【現代文】</p> <p>休校前のプリントで、共通テストの解き方や、記述問題への取り組み方について指示しました。大学入試センター試験の過去問や大学の過去問を利用して、問題へのアプローチの仕方を学んでください。</p> <p>【古典】</p> <p>春季課題としていた「スタディーチャージ」と、「漢文句形プリント」にしっかり取り組んでください。また、「完成古典」の問題（1～8まで）を解いてください。</p>	<p>【現代文】</p> <p>Classiを使いながら、『「なぜ」に答えられない科学』（教科書226頁～230頁）を扱い、その後、『舞姫』（310頁～339頁）に入ります。本文読解と並行して本文に関する記述問題を出し、記述力を養成します。また、選択肢の構成についての問題を課すので、選択問題を分析的に解く視点を身につけましょう。</p> <p>【古典】</p> <p>『今物語「やさし蔵人」』（教科書128頁～129頁）を扱い、その後、漢文の『逸話「不若人有其宝」』（教科書85頁～86頁）に入る予定です。授業開始後は古文単語テストもスタートするので、しっかり学習に取り組んでください。予習は必須です。</p>	<p>【現代文】</p> <p>授業内では、大学入試センター試験の過去問や大学共通テスト対策問題集を使用し、共通テストの選択肢問題を解くトレーニングをします。また、入試で小論文が必要な人の添削指導を開始しますので、夏休み期間中に大学の過去問を解いて持参してください。</p> <p>【古典】</p> <p>現代文と同じく、授業内では、大学入試センター試験の過去問や大学共通テスト対策問題集を使用し、共通テストの選択肢問題を解くトレーニングをします。実践的に問題を解いていくので、「文法」「古文単語」「漢文句法」については、夏までにしっかりと覚えておくように。</p>	<p>【現代文】</p> <p>休校中は教科書についての読解と問題をClassiで配信するので、必ず確認してください。読解力を維持するために、短時間でもいいので毎日教科書や問題集を「読む」習慣を続けてください。</p> <p>【古典】</p> <p>休校中は教科書本文の解説をClassiで配信します。定期考査にも出題するので、必ず確認するように。</p>	<p>大学入試記述問題の添削を希望する人は、随時受け付けていますので、持参するか、Classiで連絡をください。</p>
数学	<p>【理系】</p> <p>教科書を進んでいます。進むペースをClassi上で毎日指示していますから、遅れないように気をつけてください。また小テストも不定期で実施しているので、必ずチェックして解答しましょう。</p> <p>【文系】</p> <p>高校2年までの復習の添削課題をClassi上で週3回提示していますから、遅れないように取り組んでください。</p>	<p>【理系】</p> <p>9月くらいまでに教科書を終える予定です。特に数学IIIの「微分・積分」についてはしっかりマスターしてください。また、教科書と並行して既習内容の復習を、主に青チャートと配布のプリントを用いて行います。</p> <p>【文系】</p> <p>9月くらいまでに復習用の問題集を終える予定です。数学II・Bは手が回らない生徒が毎年ちらほらいます。与えられた課題以外にも4STEPやチャートなどに取り組み、基礎力を完成してください。</p>	<p>【理系】</p> <p>自分のレベルに合わせた問題をたくさん解いてください。学校では、共通テストの対策をしつつ、同時に志望校の難易度別に分かれた演習を行う予定です。これに関しては添削の指導も行いますので、希望者は申し出てください。授業によっては全員に添削の課題を課すことがあります。</p> <p>【文系】</p> <p>志望校のレベルに合わせた問題をたくさん解いてください。学校では、共通テストの対策をしつつ、同時に志望校の難易度別に分かれた演習を行う予定です。これに関しては添削の指導も行いますので、希望者は申し出てください。講座によっては全員に添削の課題を課すことがあります。</p>	<p>【理系】</p> <p>Classiではペースの指示の他に「教科書を読む際に意識すること」「関連動画」なども配信しています。わからない場所を残さないようにしてください。Web上でも質問ができますから、うまく活用しましょう。</p> <p>【文系】</p> <p>Classiではペースの指示する他に受験勉強に際しての注意事項等も配信する予定です。また、添削問題等わからない場所があったら、Web上でも質問ができますから、うまく活用しましょう。</p>	<p>分野に関して理解が足りないと感じた場合、「まず教科書を読み、その後に演習問題を解く」という基本の学習方法に立ち返るとよいと思います。もちろん教師に質問してもよいので、連絡をください。</p>

第3学年学習スケジュール（文理コース）

科目名	5月6日までの取組と課題	5月7日以降夏休みまでのスケジュール	夏休み以降共通テストまでのスケジュール	休校中の勉強法	備考
英語	<p>春休みから5月6日までの課題は、以下のことをねらいとしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構文力、文脈把握力を確実にすることを目的に、「英文解釈の技術100」で精読演習を、情報処理能力、問いを的確に把握する力、速読力を高めることを目的に、「共通テスト徹底リハーサル」で演習を行いましょ。 ・表現力の基礎となる文を発音できて書けるようになるように、「英作文基本300選」の例文を覚えましょ。 ・リスニング力、速読力を高めることを目的に、シャドウイング、「Listening Laboratory」での演習を行いましょ。また、ラジオ英会話、CNN 10、Breaking News Englishの視聴、シャドウイングは毎日、短時間で良いので継続することとしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな課題を出しますので、演習を重ねていきましょう。「読む」「聴く」「思考する」「理解する」「表現する」ことを、速度を上げて正確にできるように、精読、速読、シャドウイング、リスニングの演習を続けます。その中で、語彙や文法・語法の力が不足していると感じることがあると思いますから、文法をランダムに配列した「UPGRADE 実戦ランダム編」を併用します。語彙力の確認は、DataBaseを基にした授業外小テストで行ってください。 ・語彙力、文法力が不足している人は、夏休みまでに補強しておきましょう。語彙はDataBase4500以外なら、Z会の「速読英単語 必修編」を薦めます。文法は授業で使った「UPGRADE(標準編)」を復習しましょ。 ・志望校の過去問を、必ず解いておくこと。自分の今の力とのギャップを見極め、何をすべきか考え、実行しましょ。 	<p>授業内で共通テスト対策として、共通テスト型の演習をしていきます。平行して、記述力を高めるための演習を重ねていきます。「読む」「聴く」「思考する」「理解する」「表現する」ことを、速度を上げて正確にできるように、精読、速読、シャドウイング、リスニングの演習を続けます。早く正確に、理解しながら読めるように、あるいは聴けるように、和文英訳では日本語の内容を正しく理解し、その内容を英語で表現できるように、論理的に書けるように、演習していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日問題を解き、語彙、文法・語法、構文を身につけ、読む速度を上げましょ。問題を解くときは、目安の解答時間を決め、時間内に解答しましょ。どうしても時間が超過する人は、解くことを優先し、解答・解説を読んだ後、今度は時間内に解答できるようにもう1度復習しましょ。 ・シャドウイング、リスニングを毎日続けましょ。 ・今まで受けた模擬試験の復習をし、出てくる語彙や文法・語法など、解説に書いてある内容を確実に身につけましょ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英文解釈、和文英訳、英語表現の添削を希望する人は、申し出てください。 ・語彙だけ、文法だけ、と集中的に勉強するのではなく、「読む」「聴く」「書く」(話す)「そのすべての基礎」をらせん階段のイメージで勉強しましょ。 ・文法、語法、構文、読解では、なぜそう解答するのか説明できるようにする習慣をつけましょ。 ・問題を解く場合には、設問の意図を適切に読み取り、的確に答えることを意識しましょ。
物理	<p>教科書p6～p11, p17～p28を5月中旬に学習します。学習のしかたについては休校中の勉強法を見なさい。</p>	<p>落下運動、運動の法則、エネルギー等の力学分野を学習します。</p>	<p>波の性質、電気の分野を学習します。</p>	<p>①教科書をしっかり読みましょ。②教科書の問や例題、傍用問題集（リードLight）の問題で知識の定着を図りましょ。③ネットなどの環境が利用できる場合はネット動画も参考にしましょ。（例えばyoutubeで等加速度直線運動と検索してみる）④質疑応答は、何らかの方法で行いましょ。</p>	<p>教科書を読んだら、問題をやってみる。わからなければ教科書に戻って再度問題に挑戦する。これを繰り返してください。</p>
化学	<p>無機化学分野（教科書p.198～296）の内容を読み、別途プリントで指示した問題を解いてください。週に一回Webテストの配信とZoomによる質問対応を行います。Webテストは課題の一環なので必ず取り組んでください。また、質問がある人はClassiの各講座グループに投稿、あるいは学習記録に記入してください。無機化学については授業時間が例年の1/3程度になる可能性が高いので、去年の授業プリントのデータをClassiで配信します。それも参考にしながら、各自学習を進めてください。</p>	<p>6月～7月下旬までの2カ月間授業ができるとしたら、有機化学のアルコール～芳香族化合物まで授業を進めます。</p>	<p>8月下旬～10月中旬まで高分子化合物の授業を行います。10月中旬～11月中旬まで無機化学の授業をプリントを絞って行います（そのため、休校期間中に各自で勉強するようにして下さい）。11月下旬～標準レベルの二次試験の対策を交えながら、大学入試センター試験の過去問演習、共通テスト対策演習を行います。</p>	<p>理論化学の復習は、化学重要問題集のA問題がおすすめです。A問題が終わり、難関大を目指す人はB問題にも取り組みましょ。</p>	<p>「2時間●●をやる」ではなく、「この単元を理解する」「問題集のここからここまでやる」というノルマを決めてやりましょ。今積み重ねた知識がいずれ皆さんの自信となり花を咲かせます。まずはできることから、やってみましょ。</p>
化学精義	<p>送付したプリントの通り学習する。</p>	<p>酸化・還元まで終える</p>	<p>共通テスト対策問題を演習しながら学習する。</p>	<p>プリントの内容に加えてチェック＆演習を最初から各自解答する</p>	

第3学年学習スケジュール（文理コース）

科目名	5月6日までの取組と課題	5月7日以降夏休みまでのスケジュール	夏休み以降共通テストまでのスケジュール	休校中の勉強法	備考
生命科学	Classiで指示している通りである。Youtubeを視聴し、webテストに取り組み、質問を投稿せよ。呼吸と光合成の次は、page140の有性生殖に移る。ここも自習しやすい単元だからである。	教科書page187まで終える予定である。遺伝子発現について、生物基礎の内容の復習をしておくこと。古生物学、系統はすでに学習を終えている。共通テストではそのあたりは軽く扱うので心配するな。	学校の授業だけで共通テスト対策は完璧である。信じてついて来なさい。	ニューグローバル生物をどんどん予習すること。問題を読んだら5秒考えて、すぐに解答を見て納得しなさい。問題と解答をセットで読書のように読み、とにかく早く1周しなさい。じっくりやるのは2周目です。	古生物学や系統、呼吸、光合成は、ニューグローバルを一周してしまいなさい。最初は、わからないなりにとにかく、やってしまうと、後から信じられないくらいラクになる。
地学	2年次に学習した内容(第一部 固体地球とその変動、第二部 移り変わる地球、第三部 大気と海洋)を、3年次に購入したチェック&演習を活用してしっかり復習してください。チェック&演習では、第一編 活動する地球、第二編 移り変わる地球、第三編 大気と海洋に相当します。まず要点チェックで教科書や授業プリントも参照しながら、基本事項の整理をしてください。その上で基本演習、例題演習、重要演習で問題演習をおこなうと良いでしょう。問題はすべてこれまでのセンター試験の過去問で、この順に難易度が上がっていきます。	6月から授業が始まれば、2年次の続きで第三編 大気と海洋の残り、第五編 自然との共生を学習する予定です。	まず残っている第四編 宇宙の構成を学習し、その後は授業内でチェック&演習を基本的に自学自習の形でおこない、同時に質問等があれば受け付けます。その後は、模試の過去問等を行う予定です。	現在取り組んでいるチェック&演習を活用した2年次の復習を進めてください。休校が長引いているので、例年後期に授業内で行っているチェック&演習の時間があまり取れないかもしれないので、この間に出来るだけ進めておいて下さい。	
日本史	教科書p198～248までを「10分間テスト」や「日本史総合テスト」で学習すること。Classiで『「受験の日本史」通信』や各単元の動画を配信しています。	教科書p317まで進みます。休校中はClassiで『「受験の日本史」通信』や各単元の動画並びにチェックテストなどを配信します。	「夏休みを制する者は受験を制する」と昔からいわれています。原始・古代から徹底的に復習すること。問題を解いてできなかったところはほったらかしにしないように。解説を必ず読んで理解し、教科書で確認するようにしましょう。11月下旬から大学入試センター試験の過去問演習や共通テスト対策演習を始めます。	「主食」は教科書。まず教科書を読み「流れ」を理解（インプット）→「10分間テスト」や「日本史総合テスト」で問題を解いて理解できているかどうかをチェック（アウトプット）→動画を見てその単元の内容を再度インプットする。という学習サイクルを繰り返しましょう。	授業でやった箇所については「アウトプット」中心。まだ授業でやってない箇所については教科書や動画で情報をインプットすることが中心ですよ。
世界史	教科書p187～255までを「10分間テスト」で学習してください。また、授業プリントをClassiにアップロードしたので、補助教材として活用してください。Classiで各単元の解説や動画を配信しています。	教科書p301まで進みます。休校中は解説・動画・補助教材としてのプリントをClassiで配信します。	夏休みを利用して、古代から徹底的に復習して下さい。そろそろ一問一答式の問題集を購入すると良いでしょう。11月下旬から大学入試センター試験の過去問演習や共通テスト対策演習を始めます。	平日は毎日Classiで解説や動画を配信するので、必ず見て下さい。	

第3学年学習スケジュール（文理コース）

科目名	5月6日までの取組と課題	5月7日以降夏休みまでのスケジュール	夏休み以降共通テストまでのスケジュール	休校中の勉強法	備考
地理	<p>【地理特講】 Classiで配信している2年次学習内容の概要に取り組んでください。</p> <p>【地理学概論】 チェック&演習地理Bの系統地理の分野（最初から）に取り組んでください。</p>	<p>【地理特講】 地誌的分野に取り組みます。配布プリントで学習を進めていってください。並行して2年次購入しているサクシード地理の地誌的分野（120分以降）に取り組んでください。</p> <p>【地理学概論】 授業では模試の過去問演習中心に取り組みます。引き続きチェック&演習地理Bの系統地理の分野を取り組んでください。また、地誌的分野（90分以降）にも取り組んでください。</p>	<p>【地理特講】 引き続き地誌的分野に取り組みます。配布プリントで学習を進めていってください。並行して2年次購入しているサクシード地理の地誌的分野（120分以降）に取り組んでください。</p> <p>【地理学概論】 模試の過去問演習に加え、10月以降は大学入試センター試験の過去問演習に取り組みます。チェック&演習地理Bの地誌的分野（90分以降）にも取り組んでください。</p>	<p>2年次に学習した内容について、教科書や資料集を使って復習してください。Classiで配信するものも使ってください。復習する際、必ず地図帳を使用してください。</p>	
倫理	<p>教科書の単元毎に精読し、「完全マスター 倫理問題集」に取り組んでください。「基礎」「発展」の部分は内容まで踏み込んで必ず覚えきること（丸暗記では共通テストに対応できません）。その後「演習問題」に取りかかってください。「プレテスト 解明編」までやりきること。四択問題の誤答は、どこが間違っているのかを指摘できるところまで正確な知識を身につけてください。</p> <p>7月中旬には問題集をやりきってください。問題集（答え合わせしたもの）そのもの若しくは問題集の解答を書いたものを提出してもらいます。</p>		<p>自分の苦手な分野の克服に時間をかけてください。教科書や資料集を用いて思想の内容をしっかりと自分の言葉で説明できるようにしてください。</p> <p>教科書が終了次第、授業時間にセンター演習を始めます。</p> <p>夏休み明け以降は、模試過去問を分野別に整理したものに組み込んでもらいます。答え合わせをしたものを、提出してもらいます。</p>	<p>教科書と資料集を精読しながら、<u>思想の内容を自分のことばで説明できるところまで理解を深めてください。</u></p> <p>基礎的な内容は「NHK 高校講座 倫理」の中から自分の聞きたいところを聞いてみるのもよいでしょう。</p>	
政経	<p>教科書の単元毎に精読し、「チェック&演習 現社/政経」に取り組んでください。「要点チェック」の部分は必ず覚えきること。その後「問題演習」に取りかかってください。「第2部 実践力アップ」までやりきること。四択問題の誤答は、どこが間違っているのかを指摘できるところまで正確な知識を身につけてください。</p> <p>7月中旬には問題集をやりきってください。問題集（答え合わせしたもの）そのもの若しくは問題集の解答を書いたものを提出してもらいます。</p>		<p>自分の苦手な分野の克服に時間をかけてください。教科書や資料集を用いて内容をしっかりと自分の言葉で説明できるようにしてください。</p> <p>教科書（「サクシード政経/倫理」）が終了次第、授業時間にセンター演習を始めます。</p> <p>夏休み明け以降は、模試過去問を分野別に整理したものに組み込んでもらいます。答え合わせをしたものを、提出してもらいます。</p>	<p>教科書と資料集を精読しながら、内容を自分のことばで説明できるところまで理解を深めてください。</p> <p>基礎的な内容は「NHK 高校講座 政治・経済」の中から自分の聞きたいところを聞いてみるのもよいでしょう。</p>	